


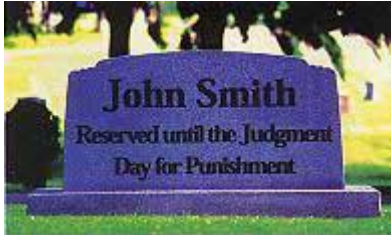
## 11. 悪魔は地獄の管理人なのか？

このページのプリント 

神は、本当に悪魔を、地獄の管理者として、滅びる者たちの刑罰を量り分ける仕事をするために雇っているのでしょうか？この世界のほとんどの人が、地獄に関して、聖書の教えに反している観念を抱いています。そして、あなた自身も、地獄について、本当は聖書が何と言っているのかを知る必要があります。騙されないようにしましょう、なぜなら、あなたの地獄に対する考えが、神のご品性の理解に確実な影響を及ぼしてしまうのです！今日、少しの時間をとって、あなたが知る必要のある驚くべき事実を学んでください。



### 1. 現在、地獄で刑罰を受けている失われた人はどのくらいいるのでしょうか？



悪人は裁きが終わるまで罰せられない。

「主は、信心深い者たちを誘惑から救い出し、不義な者たちに刑罰が下される裁きの日まで、留めておくことをご存知なのである。」ペテロの第二の手紙 2:9(欽定訳聖書)

**答え：**現在、地獄の火の中にはだれ一人としていません。聖書は、神は刑罰を下す裁きの日まで、悪人を保留、または留めておく(欽定訳聖書)と述べています。

### 2. 罪人はいつ地獄の火に投げ入れられるのでしょうか？

「世の終りにもそのとおりになるであろう。人の子はその使たちをつかわし、つまずきとなるものと不法を行う者とを、ことごとく御国からとり集めて、炉の火に投げ入れさせるであろう。そこでは泣き叫んだり、歯がみをしたりするであろう。」マタイによる福音書 13:40-42 「わたしの語ったその言葉が、終りの日にその人をさばくであろう。」ヨハネによる福音書 12:48

**答え：**罪人たちは、この世の終わりの大いなる裁きの日に地獄の火に投げ入れられます -- それは彼らが死ぬときではありません。神は、罪人がこの世の終わりに天の法廷で審理され、判決が下されるまでは、だれにも地獄の火の刑罰を執行されることはありません。五千年前に死んだ殺人犯は、今日同じ罪を犯して死んだ殺人犯よりも、五千年も長く地獄の火で焼かれているということなどありません。



罪人たちはこの世の終わりに地獄の火に投げ入れられる -- 彼らが死ぬ時ではない。

### 3. 死んだ罪人たちは今どこにいるのでしょうか？



死んだ悪人と善人の両方が墓の中で、復活の日まで眠り続ける。

「このことを驚くには及ばない。墓の中にいる者たちがみな神の子の声を聞き、善をおこなった人々は、生命を受けるためによみがえり、悪をおこなった人々は、さばきを受けるためによみがえって、それぞれ出てくる時が来るであろう。」ヨハネによる福音書 5:28, 29 「悪人は滅びの日まで留められる。」ヨブ記 21:30 (欽定訳聖書) 「彼はかかれて墓に行き、墓の中に留まる」ヨブ記 21:32 (欽定訳聖書)

**答え：**この質問に対して聖書にははっきりした答えがあります。死んだ悪人と義人の両方が復活の日まで墓の中で「眠っています」。

#### 4. 罪の最終的な結果は何ですか？

「罪の支払う報酬は死である。しかし神の賜物は、わたしたちの主キリスト・イエスにおける永遠のいのちである。」ローマ人への手紙 6:23 「欲がはらんで罪を生み、罪が熟して死を生み出す。」ヤコブの手紙 1:15 「神はそのひとり子を賜ったほどに、この世を愛して下さった。それは御子を信じる者がひとりも滅びないで、永遠の命を得るためである。」ヨハネによる福音書 3:16

**答え：**罪の報酬（または刑罰）は死で、地獄の炎で永遠に燃え続けることではありません。悪人は「滅び」または「死」の報いを受けるのです。義人は、「永遠の命」を受けます。



イエスは私たちを罪から救うために死なれた。イエスの救いの賜物を受け入れない人は死を受ける。

#### 5. 地獄の火の中で、悪人はどうなりますか？

「しかし、おくびょうな者、信じない者、忌むべき者、人殺し、姦淫を行う者、まじないをする者、偶像を拝む者、すべて偽りを言う者には、火と硫黄の燃えている池が、彼らの受くべき報いである。これが第二の死である。」ヨハネの黙示録 21:8



悪人は不死ではない。悪人は、「滅びる」「燃え尽きる」「滅ぼされる」と聖書は言っている。

**答え：**悪人は、地獄の火による第二の死で滅びます。もし、悪人が地獄で永遠に苦しむのであれば、彼らは不死ということになってしまいます。けれどもそれはありません、なぜなら聖書には「神はただひとり不死を保ち」テモテへの第一の手紙 6:16 と述べられているからです。アダムとエバがエデンから追放された後に命の木を守るために天使が置かれました。それは罪人が命の木から取って食べ、「永久に生きる」ことがないためでした (創世記 3:22-24)。罪人は地獄で永遠に生き続けるという教えはサタンが作り出したもので、まったくの偽りです。この地球に罪が浸入したときに命の木を守ることによって、神は、罪人が不死になることを防がれたのです。

#### 6. いつ、どのように、地獄の火はつけられるのでしょうか？



世の終わりに悪人の上に天から火が降り、彼らを焼き尽くす。

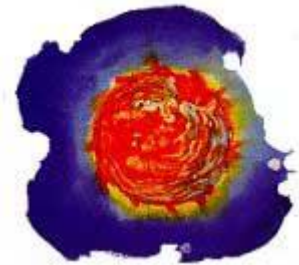
「だから、毒麦が集められて火で焼かれるように、世の終わりにもそのとおりになるであろう。...つまずきとなるものと不法を行う者とを...炉の火に投げ入れさせようであろう。」マタイによる福音書 13:40-42 「彼らは地上の広い所によってきて、聖徒たちの陣営と愛されていた都とを包囲した。すると、天から火が下ってきて、彼らを焼き尽した。」ヨハネの黙示録 20:9 「もし正しい者がこの世で罰せられるならば、悪しき者と罪びとは、なおさらである。」箴言 11:31

**答え：**世の終わりに、神ご自身が地獄の火を点じられます。聖なる都が神のもとを出て天から下ってくると（ヨハネの黙示録 21:2）、悪人たちは都を包囲しようと試みます。そのとき、神はこの地上に火を降らせ、その火が悪人を焼き尽くします。この火が聖書が述べている地獄の火なのです。

### 7. 地獄の火はどれぐらい熱く、どれほど大きいのでしょうか？

「主の日は盗人のように襲って来る。その日には、天は大音響をたてて消え去り、天体は焼けてくずれ、地とその上に造り出されたものも、みな焼きつくされるであろう。」ペテロの第二の手紙 3:10

**答え：**地獄の火の大きさは、この地球と同じ大きさです、なぜなら地球そのものが燃えるからです。この炎は非常に熱く地球を溶かし、「地とその上に造り出されたものも、みな焼きつくされる」のです。天は破裂し、「大音響をたてて消え去り」ます。



地獄の火は、地球全体規模の炎である。地球の周囲2万5千マイル（4万キロメートル）に及び、非常に熱さで、地球上のすべてのものが「焼き尽くされる」。

### 8. 悪人は炎の中でどのくらい長く罰せられるのでしょうか？

「見よ、わたしはすぐに来る。報いを携えてきて、それぞれのしわざに応じて報いよう。」ヨハネの黙示録 22:12 「人の子は父の栄光のうちに、御使たちを従えて来るが、その時には、実際のおこないに応じて、それぞれに報いるであろう。」マタイによる福音書 16:27 「主人のころを知っていながら、それに従って用意もせず勤めもしなかった僕は、多くむち打たれるであろう。しかし、知らずに打たれるようなことをした者は、打たれ方が少ないだろう。多く与えられた者からは多く求められ、」ルカによる福音書 12:47, 48



イエスは、悪人の対処に対して正義を強調される。イエスが言われたように、悪人の刑罰の度合いは公平で、彼らの業によるのである。

**答え：**聖書には、悪人が死ぬ前にどれほどの期間燃える火の中で罰せられるのかということは書かれていません。しかしながら、悪人はそれぞれの行いに応じて刑罰を受けることを神ははっきりと述べておられます。それは彼らの行いにしたがって、あるものたちは、ほかのものたちよりよりいっそう多く罰せられるということです。

### 9. 地獄の火はいずれ消えるのでしょうか？

「見よ、彼らはわらのようになって、火に焼き滅ぼされ、自分の身を炎の勢いから、救い出すことができない。その火は身を暖める炭火ではない、またその前にすわるべき火でもない。」イザヤ書 47:14 「わたしはまた、新しい天と新しい地とを見た。先の天と地とは消え去り、海もなくなりました。」（(神は)人の目から涙を全くぬぐいとして下さる。もはや、死もなく、悲しみも、叫びも、痛みもない。先のが、すでに過ぎ去ったからである。」ヨハネの黙示録 21:1, 4



神は、古い世界の悪の跡形のない、新しい世界を再創造される。

**答え：**聖書には、地獄の火は消え「身を暖める炭火も、その前に座るべき火」も残らないと明確に教えています。聖書はまた、神の新しい国では、すべて「先の（以前の）天と地」は、消え去るとも教えています。地獄は、先に（以前に）存在していたもののひとつですから、それも廃されるというのは神のお約束です。

#### 神は、責め苦をなされるお方ですか？

もし、神が、敵を灼熱の恐ろしい炎の中で、永遠にわたって苦しめるお方ならば、最も恐ろしい戦争の残虐行為をした人たちよりも、さらに邪悪で冷酷な神ということになってしまいます。永遠の地獄の苦しみは、最も卑劣な罪人を愛される神にとっても地獄になってしまうことでしょう。

### 10. 炎が消えると、何が残りますか？

「万軍の主は言われる、見よ、炉のように燃える日が来る。その時すべて高ぶる者と、悪を行なう者とは、わらのようになる。その来る日は、彼らを焼き尽くして、根も葉も残さない。」「またあなたがたは悪人を踏みつけ、わたしがことを行う日に、彼らはあなたがたの足の裏の下にあって、灰のようになると、万軍の主は言われる。」マラキ書 4:1, 3

**答え：**この聖句を注意深く見ると、今日、多くの人たちが信じているような、アスベストが燃えるように悪人が燃えてしまうのではなく、むしろ、燃え尽きてしまうわらのようだと言っています。「焼き尽くして 英-burn up」という言葉は、完了、または終了したことを表しており、炎が消え去ると、灰のほかには何も残りません。聖書の詩篇 37:10,20には、悪人は、煙のように消えうせ、完全に滅びると書かれています。



炎は、灰になってしまうまで燃え続ける。骨さえも完全に燃え尽きてしまう。

### 11. 悪人は、人間の姿のまま地獄で、体と魂の両方が滅ぼされてしまうのですか？

「五体の一部を失っても、全身が地獄に落ち込まない方が、あなたにとって益である。」マタイによる福音書 5:30 「むしろ、からだも魂も地獄で滅ぼす力のあるかたを恐れなさい。」マタイによる福音書 10:28 「罪を犯す魂は死ぬ。」エゼキエル書 18:20

**答え：**そのとおりで、実際に生きている人々が、人間の姿のまま地獄で、体と魂の両方が滅ぼされます。天の神からの火が生きている人々に下り、その存在を消し去ってしまいます。



天からの火が、悪人に下り、体と魂の両方を滅ぼす。

### 12. 悪魔が地獄を管理しているのですか？



「そして、彼らを惑わした悪魔は、火と硫黄との池に投げ込まれた。」ヨハネの黙示録 20:10 「わたしはあなたの中から火を出してあなたを焼き、あなたを見るすべての者の前であなたを地の上の灰とした。… (あなたは) 永遠にうせはてる。」エゼキエル書 28:18, 19

答え： まったく違います！悪魔は炎の中に投げ込まれ、灰になります。



悪魔は完全に火で焼かれる。

### 13. 聖書の中で使われてる「地獄」という言葉は、いつも燃えている所、または刑罰の場について言っているのですか？

答え： 「地獄」という言葉は聖書の中で 54 回使われています。そして、そのうちの 12 か所だけが「燃えるところ」を意味しています。

「地獄」という言葉は、いくつかの異なった意味の言葉から訳されています。それらは下記のとおりです。

<b>旧約聖書</b>	
31 回	「シェオル Sheol」という原語からで、その意味は「墓」。
<b>新約聖書</b>	
10 回	「ハデス Hades」という原語からで、その意味は「墓」。
12 回	「ゲヘナ Gehenna」という原語からで、その意味は「燃えているところ」
1 回	「タルタロス Tartarus」という原語からで、その意味は「暗いところ」
54 回	合計

参： 上記の「ゲヘナ Gehenna」というギリシャ語は、ヘブル語の「ゲ・ヒンノム Ge-Hinnom」という原語からの訳で、「ヒンノムの谷 Valley of Hinnom」という意味です。この谷はエルサレムのすぐ南西に位置し、動物の死骸やごみ、またほかの廃物が捨てられ、常に火が燃え、今日でいう「廃棄物清掃場」のようなところでした。聖書はこの「ゲヘナ」または「ヒンノムの谷」という言葉を、世の終りに地球を清め、失われた人々を焼き尽くす火の象徴として用いています。エルサレムの南西に位置していた「ゲヘナ」の火は、永久に燃え続けるものではありませんでした。そうでなければ、今もエルサレム南西のどこかで燃えているはずですが。同じように、地獄の火も、永遠に燃え続けるものではありません。



火は「ヒンノム(Hinnom)」の谷で絶えずくすぶった

### 14. 地獄の火に関する神の本当の目的は何ですか？

「『のろわれた者どもよ、わたしを離れて、悪魔とその使たちのために用意されている永遠の火にはいってしまえ。』」マタイによる福音書 25:41 「このいのちの書に名がしるされていない者はみな、火の池に投げ込まれた。」ヨハネの黙示録 20:15 「悪しき者はただしばらくで、うせ去る。あなたは彼の所をつぶさに尋ねても彼はいない。」「しかし、悪しき者は滅び、主の敵は…消え、煙のように消えうせる。」詩篇 37:10, 20



罪と、罪人、サタンを滅ぼすことが、この宇宙を永久に安全なところにするためのただひとつの方法である。

答え： 地獄に関する神の目的は、悪魔と、すべての罪とすべての罪人を滅ぼし、この世界を永久に安全な所にする事です。たった一人の罪人でさえ、もしこの惑星に残しておくならば、宇宙を脅かす致命的なウイルスとなってしまうでしょう。神の計画は、罪を完全に根絶することなのです。

永遠にわたる地獄の存在は、罪を永続させてしまう。

地獄の永遠の苦しきは、罪を永続させ、罪を根絶することは不可能ということになります。永遠にわたる地獄の火の中の苦しきは、神の大いなる計画の一部ではありません。このような恐ろしい空論は、聖なる愛の神に対しての中傷です。悪魔は、私たちの愛の創造主が、このような極悪非道な圧制者のように描かれるのを、大喜びして見るのです。そして、このような教えに得をしているのはただ悪魔だけです。悪魔の唯一の目的は、神のご品性を誤解させて、一人でも多くの人を滅ぼすことです。

永遠にわたる地獄の苦しみという説は人間が創作したもの

「地獄での永遠の苦しみ」という説は、聖書に源を発しているのではなく、悪魔に誤り導かれた（おそらく意図せずに）人々から来ています。ついでに申し上げますが、だれも地獄が恐ろしいからという理由で、天国にいる人はいません。人々が救われるのは、キリストを愛し、服従するからです。

### 15. 罪人を滅ぼすことは、神のご性質とは相容れないものではないでしょうか？

「わたしは生きています。わたしは悪人の死を喜ばない。むしろ悪人が、その道を離れて生きるのを喜ぶ。あなたがたは心を翻せ、心を翻して悪しき道を離れよ。イスラエルの家よ、あなたはどのようにして死んでよからうか。」エゼキエル書 33:11 「人の子は、人々の命を滅ぼすためではなく、救うために来たからである。」ルカによる福音書 9:56 (欽定訳聖書 注：日本語聖書ではこの聖句が省かれています) 「主は ... 立ちあがり ... その行いをなされる。その行いは類のないものである。またそのわざをなされる。そのわざは異なった (または奇妙 strange) ものである。」イザヤ書 28:21

**答え：** 神は滅ぼすよりも救うために絶えず働いておられます。地獄の火で悪人を滅ぼすことは、神のご性質にとって非常に異質なことなので、聖書は、神の「異なったわざ」、または「奇妙なわざ(欽定訳聖書)」と呼んでいます。神の気高く尊いお心は、悪人が滅ぼされる時に痛まれるのです。ああ、何と熱心にすべての魂の救いのために働かれていることでしょうか！けれども、もし人が神の愛を拒絶し、罪にしがみついているのであれば、最後の日にこの宇宙から恐ろしい「罪」と呼ばれる悪性腫瘍を火で焼き尽くすときに、神は罪人も彼の罪と一緒に滅ぼすことしか選択がないのです。



イエスは、救うためにご自分の命を犠牲にした人々を、滅ぼさなければならない時、深く悲しまれる。

### 16. 地獄の火が消えたのち、この地球と、神の民のための神のご計画は何ですか？

「彼はその敵に二度としかえしをする必要がないように敵を全く滅ぼされる。」ナホム書 1:9 「見よ、わたしは新しい天と、新しい地とを創造する。さきの事はおぼえられることなく、心に思い起すことはない。」イザヤ書 65:17 「見よ、神の幕屋が人と共にあり、神が人と共に住み、人は神の民となり、神自ら人と共にいまして、人の目から涙を全くぬぐいとして下さる。もはや、死もなく、悲しみも、叫びも、痛みもない。先のもの、すでに過ぎ去ったからである」。ヨハネの黙示録 21:3, 4

**答え：** 地獄の火が消えると、神は新しい地球を創造し、そして、罪が侵入する前の美と栄光に輝くエデンの園を、ご自分の民に回復されます。恐るべき罪の歴史と、すべての過去はみな忘れ去られます。痛み、死、災い、苦難、涙、病、落胆、失望、悲しみ、そしてすべての罪はみな永遠に去ります。

#### 罪は再び起こることはない

神は、罪は再び起こることがないと約束しておられます。神の民は、まったく平安、愛、喜び、そして心の安らぎに満たされます。この上ない幸福に満ちた彼らの人生は、どんな言葉でも表現できないほど輝やかしく、スリルに満ちています。地獄の本当の悲劇は、天国を失うことです。この最高にすばらしい天国に行き損ねてしまう人は、人生で最も悲しい選択をしてしまったことになるのです。



罪人が滅ぼされたのち、神は、神の民が永遠に住む、平和、喜び、愛が満ちている、すばらしい、新しい地球を創造される。

### 17. 私は、神が、悪人を地獄で永遠に苦しめられるのではないということを学ぶことができ感謝です。

**答え：**

- はい
- いいえ

#### 質問

#### 1. 聖書は「永遠にわたる苦しみ」について述べていませんか？

ユダの手紙 1:7

いいえ、「永遠にわたる苦しみ」という言葉は聖書の中に見つかりません。

#### 2. では、なぜ聖書は悪人は消すことのできない火の中で滅ぼされると記しているのですか？

エレミヤ書 17:27

消えない火とは、消すことのできない火のことではなく、すべてが灰になると消えてしまう火のことです。エレミヤ書 17:27 には、エルサレムは、消えることがない火で滅ぼされたと書かれています。また、聖書の歴代志下 36:19-21 には、「エレミヤの口によって伝えられた主の言葉の成就するため」に火が

ルサレムの町を焼き、荒廃したことが書かれています。今もって、エルサレムは燃えていませんので、この炎が消えていることは周知の通りです。

### 3. マタイによる福音書 25:46 は、悪人は「永遠の刑罰 (everlasting punishment) 」を受けると書かれているのではないですか？ マタイによる福音書 25:46

英語の聖書を調べなければわからないのですが、注目すべき言葉は *刑罰 (punishment)* であり、*刑罰が続く (punishing)* ではありません。刑罰 (punishment) は、一度の行為であって、刑罰が続いている状態 (進行形) の刑罰 (Punishing) ではないことに注意してください。悪人の刑罰は、死であり、この死が永久的なものなのです。

### 4. マタイによる福音書 10:28、「からだを殺しても、魂を殺すことのできない者どもを恐れるな。むしろ、からだも魂も地獄で滅ぼす力のあるかたを恐れなさい。」の言葉を説明して下さい。 マタイによる福音書 10:28

聖書の中の「魂」という言葉には3つの意味があります：(1) 生きているもの；創世記 2:7 (欽定訳聖書) 「... 人は、生ける魂となった」(2) 心；詩篇 139:14 (欽定訳聖書) 「... あなたの心業は驚くべきものです。それを私の魂は、よく知っています。」(3) 命；サムエル記上 18:1 (英語欽定訳) 「... ヨナタンの魂はダビデの魂に結びつき、ヨナタンは自分の魂のようにダビデを愛した」。質問のマタイによる福音書 10:28 の意味は、神の国に入るために努めるすべての人たちに保障される永遠の命に関して書かれています。だれもそれを取り去ることはできません。この後半の聖句は、魂と体の両方が地獄で滅ぼされることが述べられています。

### 5. マタイによる福音書 25:41 に、悪人のための「永遠の火」について述べていますが、これはいずれ消えるのでしょうか？ ペテロの第二の手紙 2:6

はい、聖書によると、その火は消えます。聖書自身にそれを解説してもらわなければなりません。ソドムとゴモラは、「不信仰に走ろうとする人々」のゆえに (ペテロの第二の手紙 2:6)、永遠の火で滅ぼされ (ユダの手紙 7節)、そしてその火が、すべてを「灰に帰せしめて」しまいました (ペテロの第二の手紙 2:6)。これらの町は、現在燃えていません。炎はすべてを焼き尽くした後に消えました。それと同様に、永遠の火は、悪人が灰になった後に消えるのです (マラキ書 4:3)。炎が成し遂げた結果は、永遠に至るのですが、火が永遠に燃え続けるものではありません。

### 6. ルカによる福音書 16:19-31 の金持ちとラザロの話は、永遠の地獄の苦しみについて教えているものではありませんか？ ルカによる福音書 16:19

いいえ、まったく違います！これは単に、主眼点を強調するために用いられた比喩なのです。多くの事柄が、これが比喩であるということを明確にしています。

- A. ルカによる福音書 16:22 に書かれている「アブラハムのふところ」は、天国のことを言っているものではありません (ヘブル書 11:8-10,16)。
- B. 地獄にいる者たちは、天国にいる者たちと話すことはできません (イザヤ書 65:17)。
- C. 死人は墓の中にいます (ヨブ記 17:13、ヨハネによる福音書 5:28, 29)。金持ちは目や舌を持ち、肉体を持ったまま地獄から話していましたが、人は死んだときにすぐ地獄に行くのではないことを学びました。死人は墓の中に留まるということを、聖書は明確に述べています。
- D. 人間は、死んだときではなく、キリストの再臨のときに報酬を受けます。(ヨハネの黙示録 22:11, 12)。
- E. 救われなかった人々は、彼らが死んだ時点ではなく、この世の終わりのときに、地獄で刑罰を受けます (マタイによる福音書 13:40-42)。この物語の主旨は、ルカによる福音書 16:31 にあることが分ります。たとえ話は、字義通りに解釈することはできません。もし、たとえ話を字義通りに受け取るならば、私たちは、木が話をすると信じなくてはなりません！(この比喩は士師記 9:8-15 に書かれています)。

### 7. けれども、聖書は、悪人は「永久に」苦しむと言っていますよね？ ヨハネの黙示録 14:11

聖書の中で使われている「for ever - 日本語の聖書では、永久に、永遠に、世々限りなく、いつまでも、とこしえに、またその他の言葉で訳されています。」という用語は、単にある期間(限られた期間、または限られていない期間)のことを意味します。聖書の中で 56 回使われ、すでに終了された事柄と関連しています (英語の聖書コンコルダンスで、「ever」という語を調べてみてください)。これは、たとえば「高い (tall)」という語が、人間、木、または山を意味するように、違った意味合いで表現するときに使われるのと同じことです。ヨナ書 2:6 (英語欽定訳) には「私は山々の底に下り、地の貴の木は、永久 (for ever) に私を困っていた」(日本語聖書では「永久に」が抜けています)。この「永久に」という言葉は、「三日三夜」という意味です (ヨナ書 1:17 参照)。申命記 23:3 の「いつまでも」は、英語聖書では「for ever (永久に)」と書かれておりますが、それは、「十世代」を意味しています。人間について言えば、「その人が生きている間 - as long as he lives」または「死ぬまで - until death」という意味です。(可能ならば、下記の聖句を、英語と日本語の聖書を比較しながら確かめてみてください。サムエル記上 1:22 (いつまでも-for ever)、サムエル記上 1:28 (一生の間-as long as he liveth) ; 出エジプト記 21:6 (世々かぎりなく-for ever) ; 詩篇 48:14 (とこしえに-for ever) )。ですから、悪人は炎の中で、彼らが生きている間、または死ぬまで燃えるということです。この火による罪の刑罰は、個人個人の罪の度合いによって異なりますが、刑罰が終わると炎は消え去ります。この永遠の地獄の苦しみという教えは、悪魔が作り出したどの教えよりも、多くの人々を、無心論者や精神異常の状態に至らしめてしまいました。これは、情け深く、恵み深い、天の父なる神の愛情深い性質に対する冒瀆であり、クリスチャンに、口では言い表せない害をもたらしてきました。

## クイズ

### 1. 罪人が地獄に投げ入れられるのは (1)

- 死んだ時点で。
- 世の終りに。
- 悪魔によって。

### 2. 罪人が地獄の火の中で受ける報いは (1)

- 死。

- 永遠の苦しみ。
- 地獄を管理する悪魔によって苦しめられる。

### 3. 地獄の火は (1)

- 神によって火が点じられ、全世界に及ぶ。
- 現在燃えている。
- 永遠にわたって燃え続ける。

### 4. すでに死んでしまった罪人は今 (1)

- 煉獄にいる。
- 地獄の火の中にいる。
- 墓の中にいる。

### 5. 現在、地獄にいるのは (1)

- まったくない。
- 何百万人にも上る。
- 判断できない。

### 6. 地獄の火は (1)

- 悪人の体だけを滅ぼす。
- 悪人の魂を永遠にわたって苦しめる。
- 罪人の体と魂の両方を滅ぼし、灰になり、それから炎は消える。

### 7. 地獄での永遠の苦しみは (1)

- 神の偉大な計画の、非常に重要な部分である。
- 悪魔の教理であり、人々の苦しみをご覧になることを心底お嫌いになる、聖で、愛なる神のみ名に対する冒涇である。
- 悪魔に、永遠にわたる仕事を与えることである。

### 8. 聖書に書かれている「地獄」は (1)

- 常に燃えている場所を指す。
- いくつかの意味があるが、そのひとつは 墓である。
- サタンの隠れた拷問部屋のこと。

### 9. 地獄の目的は (1)

- 神の敵に仕返しをし、苦しめる。
- 人々を恐怖によって善人にさせる。
- 罪と、悪を宇宙から完全に除去し、義人にとって永遠に安全な場所にする。

### 10. 地獄で人間を滅ぼすことは (1)

- 天の偉大な神の喜びとなる。
- それは、神の「奇妙な業」と呼ばれる、なぜなら人々を救うための神の愛の計画とは相容れないことだからである。
- 神の計画と強力した悪魔の仕事になる。

### 11. 地獄の火が消えたのちは (1)

- 神は、サタンを宇宙の彼方に追放される。
- 神は、罪が二度と起こることのない、完全な新しい地球を創造され、それを神の民にくださる。
- 義人は、罪が再び起こることを恐れて生きる。

### 12. 金持ちとラザロの話は (1)

- たとえ話であって、字義通りにとるべきではない。
- 永遠の苦しみという教えの聖書的な証拠である。



地獄にいる魂が、天国にいる魂と話し合えるという事を証明している。

13. 人間の命に関して、聖書の中で使われている言葉、「for ever -永久に、永遠に」は(1)

「終わりのない時」を意味である。

神秘であって、理解することができない。

通常は、「人間が生きている間」、あるいは、「人が死ぬまで」という意味である。

著作権 ; 2006 年 Amazing Facts Inc. 無断での複製、転載を禁じます。  
個人使用に限ってのみ複写可。 by [www.bibleuniversity.com](http://www.bibleuniversity.com) Bible School website.